

平成24年度中間決算について

本州四国連絡高速道路株式会社の平成24年度(第8期)中間決算についてお知らせします。

1. 決算概要

2. 決算資料

[個別決算]

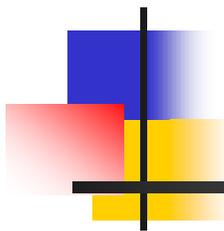
- ・ 中間貸借対照表
- ・ 中間損益計算書
- ・ 中間株主資本等変動計算書
- ・ 個別注記表

[連結決算]

- ・ 中間連結貸借対照表
- ・ 中間連結損益計算書
- ・ 中間連結株主資本等変動計算書
- ・ 連結注記表

※ 弊社の中間決算は、金融商品取引法に基づいて作成したのではなく、
情報開示等の目的で任意に作成したものです。

平成24年12月21日
本州四国連絡高速道路株式会社



平成24年度中間決算概要

(平成24年4月1日～平成24年9月30日まで)

- 平成24年度事業概要
- 平成24年度経営及び財政状況(連結・個別)
- 平成24年度業績見通し(連結・個別)

事業概要(高速道路事業)

お客様に**[安全]** **[安心]** **[快適]**に利用していただけるよう、円滑に業務を実施しました。

- 当中間期の通行台数は1,991万台(前年同期比0.5%増)、料金収入は328億円(前年同期比7.2%増)となりました。
- 道路資産賃借料は、機構への支払額が増加し、前年同期と比べ27億円増の229億円となりました。
- 休日普通車以下に「一定の割引(終日5割引を割引率50%～約55%に拡大)」を導入し、平日時間帯割引等は、継続しています。
- より快適にご利用いただくため、大規模な舗装補修工事を実施しております。また、長大橋塗替塗装、耐震補強、橋梁のコンクリート剥落防止対策などの修繕工事を実施するとともに、道路清掃等の維持作業や構造物補修・取替えなど適切な維持補修を実施しています。

舗装補修



長大橋塗替塗装(瀬戸大橋)



剥落防止対策(亀浦高架橋)



事業概要(関連事業)

- お客様サービス向上のため、SA・PA施設の充実及び混雑対策等を実施しました。
 - 地元農産物直売所の新設(淡路SA(下り))
 - SA・PAに仮設トイレの設置、駐車場に交通整理員を配置(混雑期)
- 長大橋の建設・管理技術を活用して、地方公共団体等から長大橋の施工検討、技術支援業務等を受託しました。

地元農産物直売所の新設



混雑期対策(交通整理)



経営状況の総括

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

連結中間決算における経常利益は20億円、特別利益・特別損失・法人税等を加減した結果、中間純利益は11億円となりました。

単位: 億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成24年度	平成23年度	増(△)減	前年比 (%)	平成24年度	平成23年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	346	329	17	5.1	337	321	16	5.1
営業費用	326	299	27	9.1	319	292	26	9.1
営業利益	19	29	△10	△34.3	17	28	△10	△36.6
経常利益	20	31	△10	△32.7	18	29	△10	△35.3
中間純利益	11	16	△4	△29.1	9	14	△5	△34.0

[連結対象子会社]

会社名	主な事業
JBハイウェイサービス(株)	休憩所等事業、料金收受管理、交通管理
(株)ブリッジ・エンジニアリング	点検管理、長大橋維持修繕
JBトールシステム(株)	料金收受機械保守整備、料金収入・交通量のデータ管理

高速道路事業の損益状況

- 料金収入(328億円)及び道路資産売上高(5億円)などの営業収益334億円に対し、道路資産賃借料(229億円)、道路資産完成原価(5億円)及び管理費用(83億円)の営業費用が318億円となり、営業利益は15億円となりました。

単位:億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成24年度	平成23年度	増(△)減	前年比 (%)	平成24年度	平成23年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	334	317	16	5.2	334	317	16	5.3
料金収入	328	306	22	7.2	328	306	22	7.2
道路資産完成高	5	10	△5	△48.2	5	10	△5	△48.2
その他の売上高	0.5	0.6	△0.1	△19.0	0.5	0.5	△0	△1.0
営業費用	318	291	27	9.4	316	289	27	9.4
道路資産賃借料	229	201	27	13.8	229	201	27	13.8
道路資産完成原価	5	10	△5	△48.2	5	10	△5	△48.2
管理費用	83	79	4	6.1	82	77	4	5.9
営業利益	15	26	△10	△40.3	17	28	△10	△36.8

関連事業の損益状況

- 休憩所等事業収入(8億円)及び受託事業等収入(2億円)などの営業収益11億円に対し、休憩所等事業費用(5億円)及び受託事業等費用(2億円)の営業費用が7億円となり、営業利益は3億円となりました。

単位: 億円

	連結中間決算				個別中間決算			
	平成24年度	平成23年度	増(△)減	前年比 (%)	平成24年度	平成23年度	増(△)減	前年比 (%)
営業収益	11	11	0.2	2.0	2	3	△0.4	△13.3
休憩所等事業	8	8	0.3	3.7	1	1	0	0.2
受託事業等	2	2	△0.08	△2.7	0.8	1	△0.4	△33.4
営業費用	7	8	△0.3	△4.0	2	3	△0.4	△15.1
休憩所等事業	5	5	△0.01	△0.3	1	1	△0.04	△2.8
受託事業等	2	3	△0.3	△10.1	1	1	△0.4	△28.0
営業利益	3	3	0.5	17.7	0.07	0.01	0.05	333.9
休憩所等事業	3	3	0.3	10.2	0.3	0.2	0.05	18.0
受託事業等	0.1	△0.06	0.2	—	△0.2	△0.2	0	—

資産・負債の状況

- 高速道路事業については、ETC設備及び料金収受機械設備等を更新しました。また、料金収受員が横断移動するための安全通路を設置しました。
- 資産の総額481億円に対し、負債の総額は323億円となり、純資産の総額は、前年度末から11億円増加した157億円となりました。

ETC 設備



安全通路



財政状況(貸借対照表)

(平成24年9月30日現在)

単位: 億円

区 分	連結中間決算			個別中間決算		
	平成24年度 (中間期末)	平成23年度 (期末)	増(△)減	平成24年度 (中間期末)	平成23年度 (期末)	増(△)減
資 産	481	510	△29	419	455	△36
流動資産	255	272	△17	231	254	△23
固定資産	225	238	△12	188	201	△13
負 債	323	364	△41	282	328	△46
流動負債	113	150	△37	99	141	△42
固定負債	210	214	△3	183	186	△3
純資産	157	146	11	137	127	9
株主資本	157	146	11	137	127	9
資本金	40	40	0	40	40	0
資本剰余金	40	40	0	40	40	0
利益剰余金	77	66	11	57	47	9
(負債・純資産合計)	481	510	△29	419	455	△36

平成24年度業績見通しについて

平成24年度業績見通しは、連結で6億円、個別で1億円の利益を見込んでおります。

単位：億円

	連結業績見通し			個別業績見通し		
	平成24年度 (業績見通し)	平成23年度 (決算)	増(△)減	平成24年度 (業績見通し)	平成23年度 (決算)	増(△)減
営業収益	730	687	42	714	670	43
高速道路事業	692	653	38	692	653	38
関連事業(うち休憩所等事業)	38(15)	33(14)	4(0.8)	22(3.8)	17(3.7)	4(0.01)
営業費用	724	681	43	713	668	45
高速道路事業	692	653	38	692	651	40
関連事業(うち休憩所等事業)	32(10)	27(9)	4(0.2)	21(2.9)	16(2.9)	4(△0.08)
営業利益	6	6	△0.3	1	2	△2
高速道路事業	0	0.6	△0.6	0	2	△2
関連事業(うち休憩所等事業)	6(5)	6(4)	0.3(0.6)	1(0.9)	0.8(0.8)	0.1(0.1)
経常利益	9	9	△0.3	3	4	△2
当期純利益	6	5	0.3	1	2	△0.9

※平成24年度業績見通しについては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。